

## 2017年伊豆忘年山行報告（2017年12月9日（土）－10日（日））

参加者（9名）： 青柳、天野、伊藤、荻野、小澤、神田、中島、三浦、陽田

行程： 9日（土） 9：30 宇佐美駅発＝（タクシー）＝9：40 登山口－11：00 巢雲山山頂（581m）昼食 11：50 下山－13：10 阿原田分岐＝（タクシー）＝13：30 宇佐美駅 14：00＝伊豆熱川＝伊東園ホテル熱川（泊）

10日（日） 9：30 ホテル発＝伊豆熱川 10：00＝城ヶ崎海岸駅－城ヶ崎海岸散策－城ヶ崎海岸駅＝13：00 伊東 昼食 14：00 解散

今年も早くも12月になり、恒例の忘年山行は伊豆とした。初日は「巢雲山」に登った後伊豆熱川の温泉に泊まり、翌日城ヶ崎海岸を歩くというプランである。

9日（土）、宇佐美駅で8名が集合、予約していたタクシーで巢雲台別荘地の先にある登山口に着いた。今日は空気が冷たいものの、天気は快晴で風も弱く、絶好の陽だまりハイキング日和である。すぐに登山道に入り、植林帯の中の薄暗い道を落ち葉を踏みしめて登る。車道に出て急斜面を登ると11時00分巢雲山山頂（581m）に着いた。

山頂は広いカヤトの草原になっていて、正に360度の展望である。今回の売り物の富士山は、雲一つない青空の下にしっかりとそびえていた。登山中は誰にも会わなかったが、山頂には無線をやっていると思われる人が1人だけいた。登るのが簡単で展望が良い山なので人気があり混雑するかと思ったが、意外と静かな山である。広い山頂草原には山頂標識がぽつんとあるだけだが、その先にはコンクリート製の展望台が建っている。南アルプスや沼津アルプスなどを堪能した後は、展望台の下でのんびりお昼を食べた。

お腹がいっぱいになったし、展望も堪能したので11時50分に下山する。帰りは「阿原田コース」と言われるミカン畑の中のコースを採る（上りは「峰コース」であった）。30分くらいで阿原田峠に着いたが、ここも伊豆スカイラインのすぐ隣にある。ここからは直接下山する道と、すぐ近くの大丸山に行く道があるが、直接下山することにした。

杉の植林帯をしばらく下ると道がわかりにくくなってきた。行き止まりの印から左に上がると伐採された尾根に出た。ここからは宇佐美の街と海、そして大島が良く見える。あまりに素晴らしい景色なので、思わず休憩してじつくりと眺めてしまった。後は作業用の林道を下って行き、休憩所を過ぎるとまもなく道は舗装道路となり、幅も広がってくる。両側にミカン畑が広がり、たわわに実を付けた樹もある。このあたりまでのんびり来たので時間が無くなって来た。疲れても来たし、宇佐美駅14時発の列車に乗りたいたのでタクシーを呼ぶことにした。本来ならばミカン畑の中の道を歩いて下るはずであったが、楽しみは5月のミカンの花が咲く時期に取っておくことにして、13時30分頃宇佐美駅に着いた。

宇佐美駅で列車に乗り伊豆熱川駅からホテルの送迎用バンで伊東園ホテル熱川に着いた。ホテルで陽田さんと合流、チェックインを済ませて部屋に行きすぐに風呂に入る。部屋に帰るとさっそく12月の例会の開始、アルコールも飲まずに真剣に討議を始めた。熱心に議

論は続いたが、17時20分に夕食が始まるので食堂に急いだ。食事はバイキング方式となっており、アルコールも飲み放題なので、たっぷり食べてたっぷり飲んだ。18時40分くらいに部屋に戻り、例会の後半戦をじっくりと討議した。この会の今後や、行きたい山など活発な議論が続いた。一段落した後はアルコールもOKとなり、日本酒や焼酎などをたっぷり飲んで話した。22時ころお開きとし、各自風呂に行ったりして眠りに就いた。

翌朝は6時前に目が覚めて朝風呂に行った。大島から出てくる朝日が見えるというので、露天風呂には大勢の人が待っていたが、意外と時間がかかるのであきらめて部屋に帰った。朝食も大食堂でバイキング、和洋両方を楽しみしっかりと腹ごしらえをした。9時30分に旅館のバスで熱川駅まで送ってもらい、10時04分の列車に乗った。

城ヶ崎海岸駅で降りたのは我々以外にはほとんどいなかった。駅前も店らしい店は無く、閑散としている。道だけは立派で、広い道路の両側には「売り店舗」や廃屋が目立つ。住宅も別荘なのかおしゃれなものが目立つが人気は少ない。今日も快晴で風が無く暖かい。のんびり歩いて城ヶ崎海岸に着くと、駐車場には車が沢山あり、観光客がけっこうたくさん来ていた。海岸はさすがに風が強く、帽子を飛ばされそうになる。まずは名所の「門脇吊橋」を渡る。浸食された断崖絶壁に架けられた吊橋は、下をのぞくと足がすくんでくる。なるべく下を見ないようにさっさと渡った。渡り切った先は岩場となっておりその先はもちろん海である。ここでのんびりと海を見たり写真を撮ったりした後に、又も吊橋を渡って戻る。不思議なことに、帰りの方が怖くなかったのは少しは慣れたからだろうか。

のんびりしているうちに時間もたったので、駅に戻ることにする。駅前にはほとんど店が無いので、伊東で昼食とすることにして13時頃伊東駅前で海鮮料理の店に入いった。伊豆と言えば金目鯛の煮つけ、海の幸を楽しんで14時頃店を出た。お土産をゆっくり見るという人もいたのでここで解散し、14時20分伊東発の列車に乗り東京を目指した。

今回は天気が良く、巢雲山頂からはきれいな富士山が見えた。例会も過去にないほど時間をかけ、じっくりと討議することができた。旅館は部屋が狭いことやサービスの面、食事内容など不満はあったが、料金を考えると妥当なところであろうか。今回は（も）事前の準備が万全でなく、予定が二転三転し決定が遅れたのは反省しなければならない。ただ、年末に泊まり込みでゆっくり話し合うというスタイルは今後も続けていきたい。

(伊藤)